E２ 本日の試合結果一覧

開催日 **2020/10/24**

2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 MEN

試合番号	112	試合会場	松本市総合体育館	観客数	1,372
開始時間	15:30	終了時間	16:53	試合時間	01:23
主審	戸川　太輔	副審	城　智人		

VC長野トライデンツ	通算	0 勝 4 敗 ポイント： 1	0			3		ジェイテクトSTINGS	通算	4 勝 0 敗 ポイント： 10
				16	第1セット	25				
				20	第２セット	25				
				21	第３セット	25				
					第４セット					
					第５セット					

監督コメント（VC長野）

昨日のゲームのように相手に向かって戦っていきたかったが、受け身になってしまったのが残念です。やりたい事をやらせてもらえませんでした。

ホームで熱い試合をお見せできず、サポーターの皆さんには本当に申し訳ありませんでしたが、来週もホームゲームになるのでしっかり修正して、良いパフォーマンスを見せたいと思います。

２日間、応援ありがとうございました。

監督コメント（ジェイテクトSTINGS）

昨日の試合から短い時間でしたが、しっかりと気持ちを入れ直し、終始自チームのペースで試合を進めることができました。

また来週末に向けていい準備をしていきたいと思います。

松本大会の二日間、応援いただいた皆様に感謝いたします。

要約レポート

地元での初勝利を目指すVC長野トライデンツと、新加入選手との連携を深め連勝を伸ばしたいジェイテクトSTINGSの一戦。

第１セット、ジェイテクトは今季初めて小林がセッターで先発した。ジェイテクトは中盤から好サーブでVC長野を崩し、効果的なブロックも出て、リードを広げてセットを先取した。

第２セット、序盤、VC長野のスパイクミスが目立ち、ジェイテクトがリードするが、中盤からは両チームともレセプションが安定し、一進一退の攻防となった。終盤、ジェイテクトは西田、柳澤のスパイクが決まり、セットを連取した。

第３セット、両チームともに安定したレセプションからスパイクを決め、緊迫したゲームとなった。終盤、ジェイテクトは西田のスパイクでリードし、最後は藤中がブロックを決め、松本大会を２連勝で終えた。

試合番号	113	試合会場	このはなアリーナ（草薙総合運動場体育館）	観客数	600
開始時間	13:00	終了時間	14:27	試合時間	01:27
主審	高橋　宏明	副審	中西　幸治		

東レアローズ	通算	0 勝 3 敗 ポイント： 1	0			3		ウルフドッグス名古屋	通算	1 勝 2 敗 ポイント： 3
				21	第１セット	25				
				16	第２セット	25				
				19	第３セット	25				
					第４セット					
					第５セット					

監督コメント（東レアローズ）

今シーズン初のホームゲームだったので、何としても勝利したかった。しかし、チームとして全く力が出せなかった。

まずは、個人個人がしっかりと力をだせなければチームになっていかないので、明日もう一度準備していきたい。

本日は、たくさんの応援ありがとうございました。

監督コメント（ウルフドッグス名古屋）

お互いに連敗スタートであったために、勝ちたい気持ちがぶつかり合う激しい試合となりました。

課題であるコンビネーションの精度を高め、コミュニケーションを取り合いながら常に成長し続けたいと思います。

明日も同じ対戦相手となりますが、気持ちを改めて挑みます。本日も応援ありがとうございました。

要約レポート

ホームゲームで勝利を飾りたい東レアローズとウルフドッグス名古屋との一戦。

第１セットは一進一退の攻防が続いたが、WD名古屋は傳田が連続でブロックし、クイックも決める活躍を見せ点差をつける。後半東レも追い上げを見せたが、クレクのアタックを止めきれず、WD名古屋がセットを先取する。

第２セット、序盤はラリーが続いたが、中盤クレクの３連続得点で勢いに乗ったWD名古屋がリードを広げ、セットを連取する。

第３セット、ここまでの流れを切りたい東レは、富田のアタック、鈴木のサービスエースやパダルのサーブで良い流れを作ったが、WD名古屋は山田、近、クレクのアタックで主導権を渡さず、最後は高梨が決め、WD名古屋がストレートシーズン初勝利を飾った。

試合番号	114	試合会場	猫田記念体育館	観客数	385
開始時間	14:00	終了時間	15:36	試合時間	01:36
主審	林　淳一	副審	平田　敬基		

JTサンダーズ広島	通算	3 勝 0 敗 ポイント： 9	3			0		FC東京	通算	0 勝 3 敗 ポイント： 0
				25	第１セット	22				
				26	第２セット	24				
				25	第３セット	23				
					第４セット					
					第５セット					

監督コメント（JTサンダーズ広島）

25年ぶりに猫田記念体育館で戦えたことに感謝します。

FC東京も良いバレーをしており、非常に苦しい戦いでしたが、選手ひとりひとりが役割を果たせたことが、勝利に繋がったと思います。

明日も自分達のバレーをして、最後まで粘り強く戦いたいと思います。

本日は沢山のご声援をいただきありがとうございました。

監督コメント（FC東京）

各セットあと１つ、２つ、ブレイクが足りなかったです。

明日はいくつか修正を加えて、僅差のセットを取りきり、ポイントを獲得できるようしっかり準備をしていきます。

素晴らしい環境の中で、試合をさせていただき感謝しております。明日もご声援よろしくお願いします。

要約レポート

第１セット、JTサンダーズ広島はエドガーの力強いアタックと小野寺のサービスエースでリードしたが、FC東京も佐藤のブロックで流れを掴み、迫田がサービスエースを決めるなど一進一退の展開となった。終盤、JT広島は、陳と武智が効果的なアタックで、JT広島がセットを先取した。

第２セット、序盤から両チームとも好レシーブから迫力あるラリーで手に汗を握る攻防になった。中盤、JT広島の陳が緩急ある攻撃をみせたのに対し、FC東京も迫田の気迫あふれるアタックで応戦した。しかしエドガー、武智のアタックで勢いを取り戻したJT広島がセットを連取した。

第３セット、JT広島はエドガーの力強いアタック、FC東京はリベロ古賀の好レシーブで粘りを見せ、互いにリードを譲らない意地のぶつかり合いとなった。最後は、地元の声援を力にして、JT広島がエドガー、小野寺のアタックで逃げ切り勝利した。

試合番号	115	試合会場	サントリー箕面トレーニングセンター体育館	観客数	240
開始時間	13:05	終了時間	14:58	試合時間	01:53
主審	江下　毅	副審	山本　和良		

サントリーサンバーズ	通算	2 勝 1 敗 ポイント： 6	1			3		堺ブレイザーズ	通算	3 勝 0 敗 ポイント： 9
				22	第１セット	25				
				22	第２セット	25				
				25	第３セット	17				
				17	第４セット	25				
					第５セット					

監督コメント（サントリーサンバーズ）

初めての箕面トレーニングセンターでのゲームだったので、何としても勝利で飾りたかったですが、残念ながら叶いませんでした。

堺ブレイザーズの的を絞らせないトスワークに最後まで翻弄されてしまったこと、そして強いサーブに我慢できなかったことが敗因だと思います。

選手は最後まで戦う姿勢を崩さず戦ってくれたので、必ず明日リベンジできるよう、気持ちを切り替え臨みたいと思います。

本日はホームゲームでたくさんのご声援ありがとうございました。今後も熱いご声援をよろしくお願いいたします。

監督コメント（堺ブレイザーズ）

先週に引き続きパスの良いゲームとなりました。

サントリーはサーブがとても良いチームですが、私たちのサーブレシーブが良かったことでアドバンテージを取ることができ、勝ちにつながったのだと思います。

また、ブロックが良く機能していたことにより多くのブレイクを取ることができました。

ジョンも試合を重ねるごとに良くなってきている印象です。

本日もたくさんのご声援ありがとうございました。

要約レポート

ともに開幕２連勝で波に乗るサントリーサンバーズと堺ブレイザーズの一戦。

第１セット、堺はセッター関田が松本、出来田の両センターを中心とした攻撃を組み立て、終始リードを保ったまま先取する。

第２セット、サントリーは栗山が要所でバックアタックを決め応戦するも、堺が強力なサーブで相手レシーブを崩し攻撃に繋げる形を維持し、ジョンがアタック、ブロック、サーブと随所で躍動。セットを連取した。

第３セット、後がないサントリーは持ち前のサーブで相手の攻撃を封じると、柳田にボールを集めて序盤に８－４とリードを広げる。このセットでスタートから起用された秦も期待に応える活躍をみせ、セットを奪い返した。

第４セットに入ると、堺は樋口をはじめとした強烈なサーブが再び火を噴く。対するサントリーも塩田が賢明なレシーブで得点に繋げ、チームの士気を高め食らいつくが、堺は松本のセンターから相手の隙を突くコース打ちなどで着実に得点を重ね、勢いそのままにこのセットも取り、開幕３連勝とした。

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

E２ 本日の試合結果一覧

開催日 **2020/10/24**

2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 MEN

試合番号 : 116	試合会場 : サントリー箕面トレーニングセンター体育館	観客数 : 220
開始時間 : 16:00	終了時間 : 17:21	試合時間 : 01:21
主審 : 村中 伸	副審 : 本間 明	

パナソニックパンサーズ	通算 3 勝 0 敗 ポイント : 9	3	29	第1セット	27	0	大分三好ヴァイセアドラー	通算 0 勝 3 敗 ポイント : 0
			25	第２セット	16			
			25	第３セット	14			
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント（パナソニックパンサーズ）

大分三好ヴァイセアドラーの出だしがとても良く、100%以上の気持ちで入ってこられて難しい試合でした。
落ち着いて第１セットをとれたことが大きかったと思います。その後の第２、３セットはしっかりパナソニックらしいプレーをしていたと思います。
ファンの皆さま、引き続き応援よろしくお願いいたします。

監督コメント（大分三好ヴァイセアドラー）

第１セットはサーブが良く、試合を優位に運べたと思います。しかし、パナソニックの落ち着いたプレーでセット奪取することができませんでした。
チームは良い方向に動きだしているので、明日も引き続き戦っていこうと思います。
本日もご声援ありがとうございました。

要約レポート

開幕２連勝のパナソニックパンサーズと今シーズン初勝利を目指す大分三好ヴァイセアドラーの一戦。
第１セット、大分三好は山田の強烈なサーブや高松のアタックが決まり、６－１とリードする。パナソニックは好レシーブから久原が連続でアタックを決めるなど、セット中盤で追いつく。その後は一進一退の攻防が続いたが、最後はクビアクがブロックを決め、パナソニックがセットを先取する。
第２セット以降も、パナソニックは清水やクビアクの攻撃を中心に展開。大分三好は途中からバグナスや古賀を投入するも、パナソニック・山内の速攻やブロックが決まり、勢いそのままセットを連取し、パナソニックが開幕３連勝を飾った。

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :	副審 :	

	通算 － 勝 － 敗 ポイント : －			第１セット				通算 － 勝 － 敗 ポイント : －
				第２セット				
				第３セット				
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント

要約レポート

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :	副審 :	

	通算 － 勝 － 敗 ポイント : －			第１セット				通算 － 勝 － 敗 ポイント : －
				第２セット				
				第３セット				
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント

要約レポート

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :	副審 :	

	通算 － 勝 － 敗 ポイント : －			第１セット				通算 － 勝 － 敗 ポイント : －
				第２セット				
				第３セット				
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント

要約レポート

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。